

奥びわスポーツの森(長浜市)から マキノサニービーチ高木浜(高島市)へ! 冬ならではの琵琶湖の 魅力を訪ね、 北限エリアをめぐる♪



第4回は、奥びわスポーツの森からマキノサニービーチ高木浜に至る約59km。これまでのコースと比べ距離も大幅に伸びていますが、平均時速15kmで走ればゴールまでおよそ4時間です。

まず湖岸道路を北上します。湖北野鳥センターでコハクチョウ(表紙参照)を観察したら、170年以上前に人力で掘り進められた放水路、西野水道を覗いてみましょう。続いて余呉湖へ。湖畔をめぐりしてルートに復帰し、道の駅「塩津海道あぢかまの里」で湖北グルメを堪能!琵琶湖の北限を西に越えたちかまの里で湖北グルメを堪能!琵琶湖の北限を西に越えたちかまの里で湖北グルメを堪能!琵琶湖の北限を西に越えたちかまの里で湖北グルメを堪能!琵琶湖の北限を西に越えたちかまの里で湖北グルメを堪能!

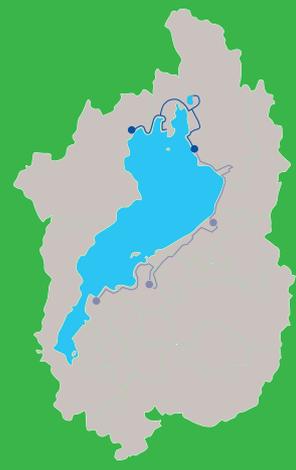


GOAL
マキノサニービーチ高木浜



「たとえ寒くても自転車をこいでいたら体が温まるから大丈夫」というのは大間違い。汗をかきほと頑張っても、乾き始めると体温が奪われ汗冷えが起きます。これを防ぐには速乾性の高いインナーが不可欠。おすすめは、保温性に優れ乾きやすさも備えた薄手のウールです。そして、足先を冷えから守るシューズカバーもお忘れなく。とくに濡れた路面を走るときは効果的です。跳ね上げた水しぶきが靴にかかる。つま先の感覚がなくなるまで凍えます。ほかにも耳当てやネックウォーマーなども冷えから守ってください。体感温度に合わせてこまめに脱ぎ着ることが大切です。

冬の琵琶湖岸を快適に走るコツ



コース	距離	約59km
	所要時間	約4時間
	消費カロリー	1800kcal
START	奥びわスポーツの森	
	道の駅 湖北みずどりステーション	
	湖北野鳥センター	
	早崎尾上山園地・野田沼	
	西野水道	
	余呉湖漁協駐車場	
	塩津浜公園	
	道の駅 塩津海道あぢかまの里	
	菅浦の湖岸集落	
GOAL	マキノサニービーチ 高木浜	

道の駅「湖北みずどりステーション」

波静かな琵琶湖を紅く染めて対岸の比良山系に沈む夕陽は、日本の夕陽百選に選ばれています。水鳥や湖岸の自然をアクセントとして多くのカメラマンや旅人を楽しませてくれるスポットです。四季折々に変化する風景はきつと心を満たしてくれるでしょう。



道の駅「湖北みずどりステーション」

湖北野鳥センター

目の前に広がる湖北水鳥公園には一年を通して多くの野鳥が飛来。センターからフィールドスコープで観察できるほか、専門員の解説を受けることもできます。冬は、オオヒシクイやコハクチョウ、オオワシなどの渡り鳥がやってきて、琵琶湖の美しい夕陽とともに訪れる人々を魅了しています。



オブジェの向こうが湖北水鳥公園

早崎尾上片山園地と野田沼

東屋と小さなグラウンドを備えた公園です。隣の野田沼は内湖で、琵琶湖と通

水し、本湖の魚類が産卵場として入ってくる春先を中心に大物釣り場となり、多くの釣り人を引き寄せます。野田沼緑地公園はトイレも完備。ファミリー・カップルにも安心です。



釣りスポットでもある野田沼

滋賀県指定文化財「西野水道」

西野地区の山の麓から琵琶湖に貫かれた高さ約2m、幅約1.5m、長さ約250mの放水路です。度重なる洪水から村を守るため、充滿寺の恵莊上人の発起により行われた土木事業です。能登、伊勢から石工を招き、6年の歳月をかけたノミだけで掘り抜かれました。完成は1845年です。



人がノミだけで掘り進めた放水路

余呉湖一周で+6.4km

「羽衣伝説」や「菊石姫伝説」を遺す神秘的な湖です。湖畔には山口誓子や斎藤路通などの句碑があります。俳



芭蕉の門下、斎藤路通が余呉湖で詠んだ句

句大会が行われるなど俳諧を楽しむ方が多く訪れるとか。いまは「ワカサギ釣り」のハイシーズン。春には、菜の花と桜が競演する「余呉川堤の桜」が楽しめます。

フィヨルドに開けた塩津浜公園

朝日と共に絶景が訪れる場所です。早朝がお勧めです。山に挟まれた湖がシンメトリ構図となるスポットです。霧がかかっているときにシャッターチャンス。琵琶湖の伝統漁法である「エリ漁」を眺めることができます。



左手にも同じ景色が広がる

道の駅「塩津海道あぢかまの里」

観光などの案内所としてだけでなく、琵琶ますや鮎をはじめ、びわ湖でとれる水産物や鴨肉など、地域ならではの新鮮な農産物や特産品が豊富に取り揃えられています。名物の焼鯖一本寿司やごパンをはじめ、湖北のグルメを楽しむのんびりお昼の到着を目標にしてみ



琵琶湖特有の「丸子船」の屋外展示

葛籠尾崎の一角、菅浦の湖岸集落

湖岸まで山がせり出すその地形は、北欧のフィヨルドのような美しさ。大浦川の河口から、湖に映る美しい並木通りを進むと、「隠れ里」と称される菅浦にたどり着きます。かつての監視門であった茅葺きの四足門をくぐると、懐かしい漁村の風景が広がります。



西の四足門

マキノサニービーチ、湖のテラス

マキノサニービーチは高木浜（北）と知内浜（南）間の約1kmにわたり、松林がなだらかな浜辺を青く縁どっています。「21世紀に引き継ぎたい日本の白砂青松百選」にも選ばれています。シンボルは「湖のテラス」。地上13mの展望台から四季折々の奥琵琶湖を楽しむことができます。



湖のテラス展望台

次号は高島市から大津市へ、湖西ルートをとります。どうぞお楽しみに！